

## 第25期第16回常任理事会議事録

日 時：平成2年3月26日（月） 10：00～11：40

場 所：気象庁観測部 会議室

出席者：浅井，竹内，河村，荒川，松野，能登，木田，  
中村，古賀，村松

### 議事

#### A. 報告事項

1. 第15回常任理事会議事録は一部修正の上承認された。

2. 各委員会報告

「庶務」主なものは次のとおり

1) 共催・後援などの依頼

期 日	件 名	主催団体
10月31-11月2日	第28回粉体に関する 討論会	同 左
10月30日	第27回自然災害科学 総合シンポジウム	伯野元彦
1991. 9. 1-6	氷の物理と化学国際 シンポジウム	雪氷学会

2) 日本気象学会秋季大会のシンポジウムのテーマは  
「集中豪雨」に決定した。（関西支部報告）

3) 電話 FAX の導入（日本気象学会事務局）

運用開始日 平成2年4月1日  
電話と FAX の共通番号 03-216-4401  
夜間，休日など不在時でも受信可能

「会計」

- ・年度末処理について報告があった。
- ・気象研究ノート170号から1年間の印刷業者は入札の結果学術図書に決まった。

「天気」

- ・3月号の内容と4・5月号の予定の報告があった。
- ・IAMAP の解説を掲載する。

「講演企画」

- ・3月15日委員会を開き春季大会のプログラムを編成した。1種講演146，2種講演108，ポスターセッション19で計273件で例年に較べ10パーセント位多い。
- ・シンポジウムの話題提供予定者と仮題は，  
テーマは「地球システムの風景」で
  1. 陸上生態系 筑波大生物系 及川武久氏
  2. 海洋プランクトン

東大海洋研 寺崎 誠氏

3. 土壌 気象大学校 土器屋由紀子氏

三重大学 犬伏和之氏

4. 永久凍土 北大低温研 福田正巳氏

・研究発表のセッションの分類において，大項目として「総合境界領域」をもうけ，その小項目に，「オゾン」と「地表・大気相互作用」をつくる。

近い将来，分類全体を見直す予定。

「総合計画」

・3月5日～10日に気象庁第一会議室において ICSU/WMO の合同科学委員会（JSC）が開催された。（日本気象学会後援）委員10名，関係者13名，合計23名参加

「山本・正野論文賞」

・選考委員会委員の報告があった。

委員長 河村 武

委員 佐藤信夫

委員 近藤 豊

委員 嶋村 克

委員 新野 宏

委員 木村龍治

委員 花輪公雄

#### 3. 審議事項

1. 会員の新規加入等について次のとおり承認された  
新規加入 個人会員 13名 団体会員 1  
退 会 個人 3名

2. 学会賞・藤原賞について

受賞者選定規定に基づく全理事の投票結果，賛成多数で次の会員が受賞者に決定した。

学会賞

巽 保夫会員 局地スペクトルモデルの開発

岩坂泰信会員 南極成層圏エアロゾルの観測的研究

藤原賞

藤田哲也会員 メソ気象学の開拓

3. 会員の種別と会費の扱いについて

平成2年度の総会議案の定款・細則の改正案が審議され，常任理事会の最終案がまとまった。総会議案として予め「天気」4月号に掲載することになった。

4. 平成2年度の予算案・事業計画案

及び元年度の決算（案）事業報告（案）

配布資料に基づき検討が行われた。年度内事業

及び会計処理として次の事項が追加されこれに伴う修正の他は、ほぼ原案どおり承認された。  
年度内追加事業

1. 事務局に FAX 設置
2. パソコン通信の機能増強

3. 山本・正野論文賞及び藤原賞のメダル作製
4. 故堀内会員の寄付を国際学術流基金に繰り入れる
5. IAMAP 準備引当金の用意
6. 国際地球物理金沢会議準備引当金の用意

## 関西支部第12回夏季大学受講生募集

—気候変動と異常気象—

**期 日**：1990年（平成2年）7月23日（月）～  
7月25日（水）

**場 所**：大阪市天王寺区石ヶ辻町19番12号  
なにわ会館（3階 葛城「東」）06-772-1441  
（近鉄上本町駅 徒歩3分、地下鉄谷町九丁目駅 徒歩8分）

**受講料**：4,000円（テキスト代を含む）

**申込方法**：住所・氏名・年齢・勤務先・電話番号を明記し現金書留、又は郵便振替で受講料を添えて申し込んで下さい。  
受付後受講票をお送りします。  
（郵便振替口座 大阪 8-18318 日本気象学会関西支部）

定員 100名（定員に達し次第締切ります）

**申込先**：〒540 大阪市中央区大手前4丁目1番67号  
大阪合同庁舎第2号館  
大阪管区気象台内 日本気象学会関西支部  
（Tel. 06-941-0341 内線 6145）

**申込締切**：1990年（平成2年）7月16日（月）

**主催**：日本気象学会関西支部

**後援**：大阪府教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、滋賀県教育委員会、和歌山県教育委員会、大阪市教育委員会、大阪管区気象台

	午前（10時00分～12時00分）	午後（13時00分～16時00分）
7月23日 （月）	「気候変動」 山元龍三郎 （京都大学理学部気候変動実験施設教授）	「最近の異常気象」 好本 誠 （大阪管区気象台予報官）
7月24日 （火）	実習「天気図の見方と解析」 中井 毅 増井初水 （大阪管区気象台予報官）（大阪管区気象台予報官）	
7月25日 （水）	「温暖化をもたらす気体の科学」 村松久史（京都大学防災研究所教授）	気象台見学（注）異常気象の場合は中止の場合もあります

**編集後記**：編集委員をしていて一番気になるのは、やはり読者の反応です。一方通行の雑誌になっていないかと自問。／最近の気象談話室・素人による気象放談会は傑作だった。時に抱腹絶倒、特に真剣に悩みながら最後まで

で読んだ。自分は一体、どんな気象画を描こうとしているのだろうか。／次回は専門家、専門家の卵による気象放談会をやりたいものです。自発的投稿に期待。議論の温暖化歓迎します。（S）